

大学等名：東京女子大学

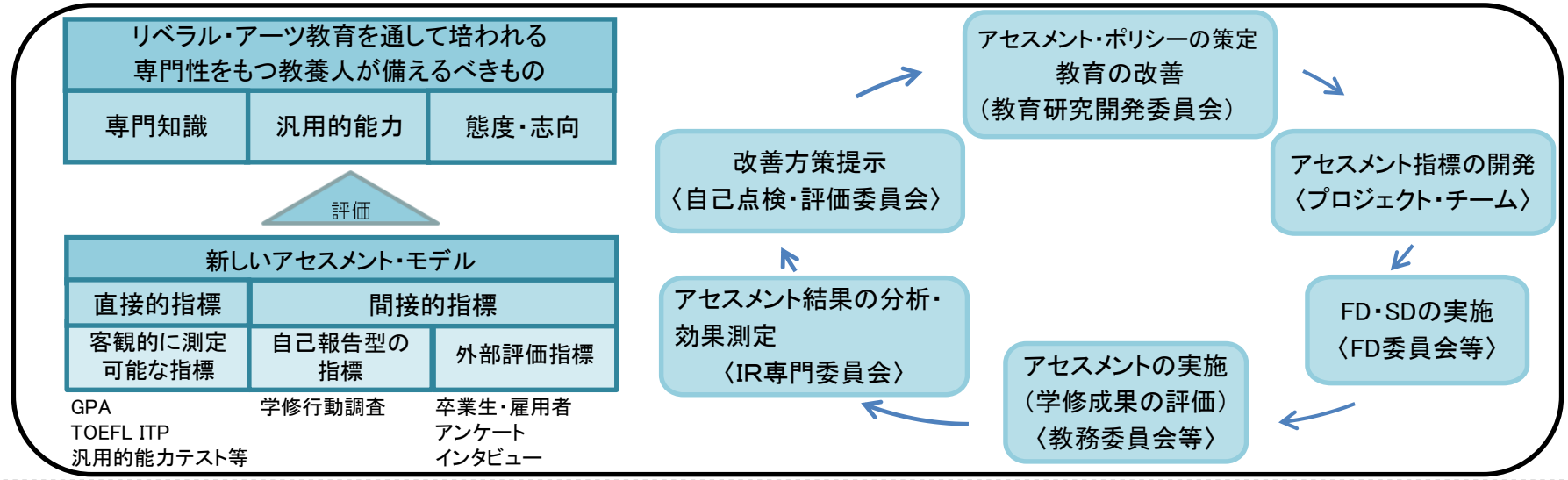
テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

「リベラル・アーツ教育のアセスメント・モデル構築による学修成果の向上と可視化」

キリスト教を基盤としたリベラル・アーツ教育による学修成果、特に「汎用的能力」、「態度・志向」の修得度の効果を測定する独自の指標を作成・開発し、教養教育を通して身につく力（コラボレーション能力、積極的に学ぶ姿勢、リーダーシップなど）を評価する仕組み作りに取り組みます。学生のみならず卒業生や卒業生を雇用する企業等への調査により、本学の教育成果を客観的に把握し、教養教育プログラムの改善に繋がります。人材育成の目的の達成度を客観的に測定し、教育改善を恒常的に行っていきます。

高度化・複雑化した現代の諸問題を解決しうる
「専門性をもつ教養人」としての女性の育成

リベラルアーツ教育の学修成果の測定と
それに基づく改善



【事業の成果】

	H26年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
学生の授業外学修時間	9時間20分	24時間	19時間30分
コア科目のうちルーブリックを導入した授業科目の割合	0%	100%	100%



・アセスメント・モデルを構築して本学の教養教育の成果を可視化し、改善策を明確にします。それにより、授業を改善、教育力を強化し、PDCAサイクルをレベルアップすることで、大学改革が加速されます。
 ・学長のガバナンスの下、FD・SD活動を実施し、大学全体で本事業に取り組むことにより、教職協働体制がさらに強化されます。